

第13回みんなのタウンミーティング会議報告（令和5年度第10回）

- 1 開催日時 令和6年1月20日（土） 午前11時00分～12時30分
- 2 開催場所 市民会館・萌え木ホール
- 3 参加者 市長及び市民15名
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ（市政報告）
 - (3) 懇談（フリーテーマ）
 - (4) 閉会

5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	能登半島地震と市の防災について	<p>今回の能登半島地震、私の地元で起こりました。珠洲市の出身なんですけれども、今回、義援金や物資の輸送など御協力いただきまして、どうもありがとうございます。</p> <p>今回、実家が被災して家族が避難生活を送り、その後、2次避難というか、金沢の親族の家にて避難生活を送っているんですが、震災直後、ものすごい混乱でした。珠洲市の防災体制は問題だらけで、パニック状態でした。輪島も、珠洲も、自治体自体が被災して、全く動きができない。市の職員が、まず震災後、2日、3日経っても、20人程度しか登庁できないとか、そういう大混乱状態だったんです。小金井の場合は、例えば大災害が起こった際に、市の方々の招集体制といいますか、対応する体制がどのぐらいの感じているのかなという感じですね。</p> <p>あとは、避難所が大問題で、避難所の不足、物資の不足、プライバシーのなさ……あとは、とにかく指揮系統といいますか、仕切る人が全くいない状態で、大混乱のまま何日か経っていて、色々問題だらけだなというのを、東京から見ていて思いました。</p> <p>小金井にも避難所が何か所かありますが、例えばプライバシーを確保できるテントとか、仕切りなどはどのぐらいあるのでしょうか。避難所によって人数が決められていると思うんですけども、その人数を収容するのに十分な物資が常時揃えられているのかとか、プライバシーの確保ができるのかとか、ちょっと知りたいです。</p> <p>あと、今回、避難所までたどり着けない、自主的に避難している人たちが、かなり多くいたんですけども、そういう人たちが町の集会所とか、家が潰れていない人は、傾きながらも在宅避難しているんですけども、避難所運営にまでたどり着けない人たちのフォローというか、そういう体制などとかをどういうふうにお考えののかなということをお伺いしたいです。</p>	<p>御実家が珠洲市ということで今回の被災されたこと、お見舞いを申し上げたいと思います。珠洲市は全世帯のほとんどというか、大部分がもう住めない状況になっているという話も聞いておまして、大変な状況です。防災体制については、当然課題は今でもあるんです。震災して、1月3日の仕事始めの前日に市役所に来て、朝から地域防災計画、これを改めて細かいところまで読み直していました。</p> <p>まず今、能登半島地震に対して何ができるかということについてです。防災計画の「自治体の被災地の支援」という項目に、色々やることを書いてあるので、そこを見ながら、まず能登半島地震の被災地に対して何ができるかということを中心に見直しました。あとは、震災したらまず何をするかということは、一応頭に入っているつもりですけれども、改めて見直していたところです。</p> <p>自治体の震災直後の機能について、まずはなかなか職員が登庁できなかったという話がありました。これは、小金井市としても課題の1つです。といいますのは、今、市の職員の市内在任率は3割を切っているんです。これは小金井市だけではなくて、周辺の自治体は大体似たような数字です。もっと低いところもあったりもします。</p> <p>震災直後、誰がどう動くかというのは、もう役割が決まっています。その役割どおりに動けるかというところが、恐らく課題になってくるだろうなと思いますので、それが叶わない場合のフォロー体制なども想定しないといけないなというところで。</p> <p>地域防災計画を手元にお話をすればいいところなのですが、今は細かくお話しできず、大変申し訳ありません。物資などについては、計画で十分に想定できているものと、足りないものとあります。</p> <p>さっきおっしゃった、例えば避難所のプライバシーを守るための資機材というのは、まだ不足している状況です。テントみたいなものとか、段ボール型のものとか、仕切りだとか、色々あるんですけども、まだ想定している十分な運用というのは確保できていないので、これは毎年、予算の範囲内で、随時増やしていっているという状況です。</p> <p>あと、自主避難される方や自宅避難される方に対する支援の在り方については、一応、計画の中に必要なことが書いてありますが、「実際にそのとおり動けるのか」という話なんです。言ってしまうと切りがないんですけども、ケース・バイ・ケースで、誰にどう支援してもらえるかとか、そういうフォローをどうやっていくかという、その場で判断していかざるを得ない状況というのは基本的にあります。全てを想定して準備するということは、やる人間が被災しないという前提に立ってしまいますので、恐らく無理だろうなと思います。</p> <p>併せて、今やっていることとして、民間企業、もしくは地域の団体の皆さんと協定を結んで、大災害が発生したときに「こういう役割を担ってください」「こういうものを提供してください」という約束事を、いろんな団体と積極的に結んでいます。これも、提供する団体の事業所が駄目になってしまうと出来ないわけですけども、色んなテーマで、複数そういう協定を結んで、いざというときにお互いに助け合うということを準備しているところであります。</p> <p>いずれにしても、その地域防災計画に基づいて、我々として優先的にしっかりと構築しないといけないものを改めて見直そうということと、今、能登半島で起こっていることを、我々もしっかり情報収集して、自分たちのこととして捉えて、今までできていないこと、取り組めていないことにしっかりと取り組もうということ、話しているところでございます。</p> <p>能登半島の被災地を支援することもそうなんですけども、我々もそこから学ぶことというのは多いだろうなと、そういうことも含めて、今回の地震を捉えております。</p>

件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
	<p>市が被災したときに、やっぱりどうしてもパニックになってしまうので、外部からの災害コーディネーターですとか、そういったところのヘルプが必ず必要になるというのは思っていたので、先ほどのいろいろな民間や団体と協定されているということを知って、少し安心しました。当事者は絶対にまともに動けないというのは、今回よく分かりました。</p> <p>それで、やっぱり最初に自助が必要になる。その次に、公助、共助というのは、本当に今回、段階を追って、まさにそのとおり地元では動いていました。私も、まず自助、公助までの段階で、防災士の資格を、今回、これを機に取ろうかなと考えています。</p> <p>小金井市は防災士の資格を取得するのに補助金などはないんですけれども、都内だと、立川だけか。防災士の資格を取得するには、補助があれば1万円弱、ないと7万円弱かかるんです。この辺の補助の制度をつくる予定はあるのかなとか、あったら嬉しいなと思っております。</p>	<p>御意見として承ります。</p>
	<p>先日、東京都が主催する作文の表彰式があり、その中で防災関係のPRがありました。そして、防災関係の部署が発行する冊子を見て感動しました。非常に良い資料だと。</p> <p>今回の被災地は耐震基準を満たしていない建物が54%と言われてますけれども、小金井市の場合は、ゼロとは言いませんけど、かなり少ないんです。同規模の震災があっても、倒壊とかいうものはかなり少ないと思う。それで、まず自助が非常に大事になると思います。</p> <p>そうすると、やっぱり、もしそういったパンフレットを都から大量に取り寄せることができるなら、全戸に配布するとか。チェック表とかが細かくて、非常に役立つんです。小金井市の資料を使うのが一番良いとは思いますが、特にマンションに住まわれている方は参考になる冊子でしたので、まずそういうものを配る。身近に何を揃えたらいいか、具体的に書いてあるし、「万が一そういうことがあったら何をチェックしたら良いか」ということが書いてある冊子ですので、小金井市にそういったものがないのであれば、活用するというのも1つの手だと思います。まず一歩、すぐ出来ることだと思いますので、よろしくお願いします。</p>	<p>できましたら、それを1回情報提供いただければありがたいです。おっしゃったように自助、共助、公助ですけれども、公助があまり期待できないという前提に立っていただいて、自助、共助をまちの雰囲気としてどうつくっておくか。それが大事だと思っておりますので、そういう啓発活動も含めて、できることを考えていただく仕掛けというのを、市としてもこれまで以上に取組まなければならないと考えております。</p>
	<p>小金井市は道路が狭いという印象がちょっとありまして、これから30年以内に関東大震災級の地震が7割の確率で起こりますということは、もう報道されているんですが、木造の家が結構多いと思うんです。特に能登で地震があったときに、輪島の市は全部燃えてしまったじゃないですか。私も小金井市に生まれてからずっと住んでいるんですが、北西の風がすごく強いです。また、東小金井から降りて、梶野町の自宅に帰るまで、大変風が強い日が多いんです。</p> <p>だから、小金井で火事が起きたときに、消防車も来られなくて、どんどん延焼が広がってしまうというのを防ぐために、6万世帯から7万世帯が小金井市にいるんですけど、「1本、消火器を置きましょう」運動みたいなものがあると、万が一のときに有効なのかと思います。水を置くというのは言うまでもないんですけど、消火器が大事だと思います。補助金があれば、更にいいんですけど。</p>	<p>道路が狭いというのはそのとおりです。ただ、小金井市の中でも、東京都の指導を受けて、木造住宅密集地域というものを指定しています。それは、部分的に数か所あります。ただ、おっしゃっていただいたように、密集はしてなくても、何だかんだ言って木造建築の住宅が並んでいるところは多いので、「自宅に消火器」ということは、御意見として受け止めさせていただきます。</p>

件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
	<p>去年、自分で地域安全課などに各避難所における備蓄について確認してみたら、これ不足しているなというものが多かったです。また、それ以外でも、今回の能登地震の件で言わせてもらえると、道路が遮断されて色々と起こっている際に、小金井市内で、ヘリコプターで災害の物資を運んだり、避難のために離発着したりできる場所を聞いたら、第二小学校の近くと、あと、小金井公園とおっしゃっていました。それだけ近い所はあるけれども、逆に三鷹寄りの方は何もないということです。</p> <p>また、何でもですが、全てのことがムサコ中心になっています。宮地楽器ホールとかも。だからと言って、移動のための駐車場が完備されているわけでもないし、公共の乗り物で乗り継ぐ必要がある。</p> <p>あと、市の予算を使って災害備蓄品の在庫管理をしているはずなんですけど、今回、能登の方に支援物資を送ったのは、市の備蓄に対して何%で行ったかが分からないので、伺いたいです。</p>	<p>まず、ヘリコプターの発着できる場所については、今正しい情報をお伝えできないのですが、恐らく言っていたとおりです。特に災害物資については、小金井公園が中心となるということで、東京都さんともこの間話をしていました。</p> <p>ただ、そこだけでいいのかというのは、道路の状況によって、他のところに通じる道がなければ課題になりますので、そこは1つ、市としての課題としては持っております。あまり「あちこちにある」というのも、人も分散してしまうので、そこはちょっと悩ましいところもありますが、おっしゃっていただいたように、色々なものが武蔵小金井方面に少し偏っていると。それは、印象としては私も分かりますので、まず御意見として受け止めておきたいと思います。</p> <p>あと、支援物資を被災地に送った件ですけども、今、何%という数字でお答えできないんですが、基本的に、今後近い将来、入れ替える物資を選定して、市としての計画で、遜色のない範囲で支援物資を送ろうという話をしておりまして、市として計画している支援物資が減るということはないです。そういう前提で、今、支援物資を送っております。</p>
	<p>備蓄されている場所って、かなり分散していますね。サニタリーとか、そういったものは、別のところで1か所で保管している地域安全課に聞いているんですけど、あちこちで全部寄せ集めて、積んで持っていったということなんですか。今回、市の予算を使って、在庫管理してやっているということで、その辺りの数字がどれくらい変わるのかを、また見させてもらおうと思っているんですけど。どう見ても足りないよねというのが。備蓄台帳で見たときに、発電機が各避難所に2台しかないみたいなんです。</p>	<p>あちこちに備蓄しているものを、これはここへ取りに行こうと、順番に回って、積み込んで持っていったということなんです。また、足りているものと、足りないものがありますが、それはあくまで地域防災計画で決めた数量、どれだけの方がどれだけ避難する、それに必要な備蓄品というのはこうだ、みたいなことも含めて割り出した数字として、計画上のものとして、今、充足できているものと、まだ足りないものがあるということです。</p> <p>今、具体的にこれがどれだけ足りないというのはお答えできないんですけど、そういうふうに捉えていただければと思います。</p> <p>あとは、災害備蓄品の予算のつけ方とか、その予算全般の編成、使い方についても御意見をいただきましたけれども、これ非常に悩ましくて、災害備蓄品については、今正確に言えませんが、大体毎年同じような額で積み増して、備蓄品を確保しているという状況です。</p> <p>例えば水であったり、食料であったりだとか、やっぱり期限が来るものもございまして、買ったものをずっと置いていけるわけではなくて、やっぱり入替えとか、そういうものも含めての、恐らく予算としてはそんなに毎年増やしたり、減らしたりしていない認識に立っています。</p> <p>ただ、やっぱり全体の予算を編成する中において、それなりに必要なもの、もしくは必要な施策というのは当然ありますので、災害のものだけを優先してやるということが、なかなかやりづらいということです。特に、こういう大きな災害があった時にはそういう認識に立ちますが、「今、特に災害対応で足りない部分は何か」というのは、やっぱりその中でも、「優先順位をつけて考えていく」もしくは「足りないものをもう少し手厚くしておく」ということでやらざるを得ないです。</p> <p>今回、既に災害が発生した段階では、ほぼ予算はできている状況です。今後また補正予算、もしくは翌年度の予算で、更に優先的に災害対応としてやらないといけなことを、もしかしたら中止するかもしれませんが…。そう捉えていただければと思います。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
2	市公式LINEについて	<p>LINEのことなのですが、災害の関係で、今見てみたら、道路について情報が取れるみたいです。以前は道路管理課にLINEで場所を送っていましたが、一方通行で、その後にホームページに掲載するけど画像も出ないものでした。今はLINEに道路の情報って書いてあるけれども、道路管理課の以前のLINEはなくなるんですか。ちらっと見たら、いろいろな情報が取れるって書いてあるけれども、もうちょっと詳しくインフォメーションがないと、開けて見てびっくりという感じで、どこまでが可能かわかりません。これは返信できるのか、できないのか。その辺りを聞きたいです。</p>	<p>公式LINEについては、道路のLINEについてはなくす方向という話になっています。ですので、この公式LINE1本になります。</p> <p>【事務局】 返信についてですが、ものによって電話番号などを入力してもらった部分があるので、そういった方には、場合によっては御連絡したりとかいうことはあります。</p>
3	これからのまちの発展について	<p>小金井のこれからの発展という点での質問です。2年前にマンションを買って、小金井に移って来ました。今、6歳と4歳の子供がいて、子どもたち自身が非常にこの小金井が好きだと言っていて、彼らに自分は何ができるかなと思ったときに、それは環境整備だと思いました。</p> <p>もともと、私も本当にいいところだなと思っていて、自然とか、野菜とか、農地もたくさんあって、通勤特快は止まりませんが、それが逆に小金井らしさが残って、いい理由なのかなというふうに思っています。</p> <p>そういった中で、辻調（辻調理師専門学校）の開校や庁舎移転と、新しい変革の時期に、この小金井の総合プロデュースというか、未来像というか。</p> <p>歳入がなかなか厳しい状態にある中で、お金をこの小金井に持ってくるバイタリティーはあると思うんですけども、それをどうやってうまく使っていくのかということが知りたいです。</p> <p>私も今、観光業に従事していて、添乗員などもやっています。いろんな世界を見てきて、良いものはあるんだけど、なかなかそこにアクセスできないがために、廃れていってしまっているというような所をたくさん見てきました。</p> <p>小金井には、いっぱい良いところがあるので、それをどう使って、小金井にお金が入ってくるようにできるのかなというのが、今の課題なのかなというふうに思っています。私からは、そういう攻めというか、発展のほうの質問です。</p>	<p>非常に重要な御質問だと思います。今、「辻調」という言葉がありましたが、学芸大学の敷地内に、「辻調理師専門学校 東京」というのが4月1日に開校するという事です。そういう教育機関とは、我々としてもしっかり連携していきたいなと思っております。</p> <p>庁舎と福祉会館の複合施設の建設は、今からのスケジュールで約4年後の竣工を目指してやっております。</p> <p>「これからのまちの発展」ということですが、これは小金井市の個別の課題の話ですけども、武蔵小金井駅北口の西友跡地の建物を含めた一帯のエリアで再開発を予定しております。これは、市の事業ではなくて、その地権者の皆さんでやっていただくものを、市として支援するような形になります。</p> <p>もともと小金井市は、武蔵小金井駅の北口が中心だったんです。その北口の回遊性を高め、小金井市のまちの魅力、駅周辺の魅力をつくるということも含めて、市としてはその再開発を支援します。</p> <p>大きな話に行きますと、小金井市としても、これから人口減少社会を迎えていこうということなんです。実は、1年前の1月1日の人口と比較すると、若干減っています。1年間で減ったのは、本当にここ十年で初めてと申しますか、右肩上がりで微増傾向だったものが、ずっと何年か踊り場だったんですが、ちょっと減り始めていくかもしれない。</p> <p>もしかしたらこの踊り場の状態が続くかもしれませんが、やはり担税力の高い子育て世代に、引き続き多く住み続けていただくということと、そういう人たちにいかにこの地域の中で何かしら動いていただくかということ。その活動をしっかりと支援していくということによって、市内の経済活動を回していくということ。そこに、もっと力を入れないといけないなと思っています。</p> <p>何故ならばという、小金井市は、住むと、すごくいいまちなんですけども、観光名所ではないんです。それは、なかなかそういうふうには持っていけないだろうなと。小金井市の地域資源というのは、私もすごく好きで、理解していますけども、観光で人を呼び続ける場所ではないなとは思っています。ですので、いかに住む人たちが納得をして、好んで動いて、そこでお金を使い続けるかという、そういう仕組みにしないといけないということなんです。</p> <p>あと、まちの特徴としては、やはり教育というのは1つのキーワードと思っております。この狭い市域に大学、専門学校、私立の高校、中学校を含めて、これだけ教育機関があるというのは、非常に大きな資産です。ちなみにNICTという国の研究機関もありますし、そういった教育の特性をしっかりと踏まえて、小金井市としてのブランドをつくっていくということも、もう一度やり直さないといけないと思っています。私は以前そういう仕事もやっていたので、ちょっと時間をかけて、まちのブランディングを図っていききたいと思っています。</p> <p>併せて、教育と関連するところで行くと、「人財立市」という言葉あるんですけども、要するに、「いかに小金井市で魅力のある人をみんなで育てることができるのか」ということで、面白い人たちが集まるような、そういう好循環をつくっていききたいなと。小金井市はそれができるまちだと思っています。</p> <p>ちょっとざっくりとした話です。これは、別に計画とか何もない中で、今、大きな将来的なビジョンを聞かれましたので、あくまで私の見解をしゃべっておりますが、ちょっとそういうふうには持っていきたいなと思っております。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
6	ごみ袋について	<p>ごみの袋について、今、プラごみと、それから埋立てごみとが一緒の袋になっていて、回収日は違うんでしょうけど、そこが非常に分かりづらくて、有効利用しにくいんじゃないかなと思います。そこをうまく分ければ、再利用、有効利用の意識も広がるんじゃないかなと思います。</p>	<p>プラごみと燃やさないごみ、それが同じ袋であるというの、そのとおりです。なぜこれに分かれていないのかは、すみません、私もちょっとよく分かっていないので、確認をさせていただきます。 そういう御意見があったことも含めて、ごみ対策課を中心に伝えまして、対応できることは対応していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
7	みんなのタウンミーティング会議録について	<p>タウンミーティング、毎回、会議録をアップしていただいているんですが、10月のものがまだアップされていない。今回の特にこういう能登地震のことなんかはタイムリーで、それが3か月や4か月後に会議録が公開されても遅い。もっと早く、というふうに言っているんですが、どうなっているんでしょうか。</p>	<p>大変申し訳ありません。私がいろいろ注文をつけ過ぎて、仕事を増やしている状況もございまして、担当課には逆に申し訳ないんですけども、それも含めてうまく対応できていないところですね。 今後、会議録の公開については、まだ具体的には言えないんですけども、リアルタイムとは言わないまでも、もう少し迅速にできる仕組みを導入できるように、今、準備をしております。試してみて、まだ課題があれば、それをまた改良して…というのをやりながらなので、今すぐにはできないんですけども、もっと迅速に公開できるように、会議録のとり方について検討しております。 現段階では、大変申し訳ありませんが、そういうふうに捉えていただければと思います。</p>
8	市の教育について	<p>私は、21年前にある事情があつて小金井市の駅の近くのマンションに引っ越してきました、まず図書館があると聞いて行きましたが、がっかりしました。でも、今、21年たつて、新しい図書館をつくってくれという意見は全くありません。私は、東京農工大学の図書館、東京学芸大学の図書館、他市になりますけども東京経済大学の図書館を利用させていただいています。 特に、東京学芸大学の図書館は非常に各分野、蔵書の数、そろっています。それから、東京農工大学も、工業系や農業系以外もちゃんとそろえています。東京経済大学は経済関係の書物がそろっています。本当にそういったところを利用すれば事足りるといいますか、逆に、非常に良い場所だなと痛感しています。 それだけではなくて、学芸大学ではキャンパス内で無料の混声合唱のコンサートを開いていたり、美術家の方が絵画展を頻繁にやったり、農工大学でも催し物があるんですけど、そういったものと、もう少し広く連携して、教育推しといいますか。小金井市の独特なものを「教育」というところで発信すれば、市長さんが就任早々にある新聞紙上に書かれていた多様性という言葉にも反映されてくると思うんです。多様性と教育というのは、1つの重なりがあると思うか。</p>	<p>教育機関の地域資源を最大限、小金井市としても活用させていただくということ、もっともっと進めたいと思っておりますので、おっしゃっていただいたことも含めて、しっかりと今後も検討し、進めていきたいと思っております。</p>
9	市の歳入について	<p>小金井市の歳入のうち、市民税はどのぐらいの比率を占めているんですか。お金持ちとか、隣の武蔵野市さんと会社、企業が多いので、企業の収入というのがあるじゃないですか。おのずと市民税の収入というのが高くなります。小金井市はそれが少ないんでしょうか。</p>	<p>ざっくりと、ちょうど半分です。5割が市民税です。法人税収は少ないです。四、五年前に調べたことがあるんですけど、この中央線沿線の多摩地域の自治体で、市民1人当たりの法人税収が小金井は最下位だったんです。ほぼたばこ税と同じぐらい。たばこ税よりはちょっと多いですかね。今、法人税収は約8億円前後しかないです。たばこ税が今、7億円ぐらいかな。この8億円というのは、かなり少ないんです。 というのは、良好な住環境を優先して、この間ずっと小金井市政はこのまちをつくってきたという背景があります。市域面積が少ないというのもありますし、要するに工場とか、そういうのを誘致するような準工業地域という土地、用途ができる土地がほぼないという状況です。 あとは、教育機関と都立公園と多磨霊園。要するに課税できない土地は、ちょっと割合としては高いんですよ。です、そういうことも含めて、お金が入ってくる要素というのは若干少ないというのは、この小金井市のある意味、歳入構造の特徴と言えます。これを大きく変えることは、もう今の段階では難しいというか、できないことですので、逆に、それ以外の方策というのをしっかりと突き詰めてやるしかないということでございます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
10	新庁舎等建設について	<p>白井さんとは、何度かいろんな場所でお話しています。市役所の設計の話で、私は見直し案というのをお出ししているんです。</p> <p>2020年の2月15日に市民説明会、パブリックコメントがありまして、そんなにお金をかけなくてもできるということを、私は設計して、当時の西岡市長に、この案を基に役立ててほしいという経過で、今に至ります。2020年のときに84億4,000万という金額で実施設計に進んでしまっていて、それが90億に上がり、今は物価高騰を想定した115億7,000万と想定しているじゃないですか。</p> <p>ここでお伝えしたいことは、知らないままに決まってしまう、この議会と行政の中で、白井さんが挙げられた公約だからという、大方針の下に進んでいってしまうことを非常に危惧しています。白井さんの立場的には公約だから、それはやらなきゃいけないというのは分かるんだけど、よく本質を読み解いてほしい。</p> <p>私は図面を読む力というのは、白井さんよりある。今のまま行ったら、すごい建物になってしまう。危険です。一般の市民の方から提案されたものは、ちゃんと南側に3,000平米の広場がとれて、そして、福祉会館も、市庁舎も、両方免震にできる。北側も分離されているんだと。地下もない、工期も短い。</p> <p>建設費は坪61万とおっしゃいましたよね。私が設計しているものというのは、1万4,000平米ぐらいなんです。市役所の行政の方や市民の方が活動される面積は変わらない。福祉会館の面積も同じだけ、床面積は造れる。3,000平米少ないのは61万を掛けると、二十数億円安い。私は、そういう分を、先ほど冒頭の質問であった能登半島の地震の災害の費用の準備金に充てるとか、予算の配分に生かしてほしいんです。</p> <p>私も35年、一級建築士として仕事をしてきているんだけど、本当に市政について知ったのは4年前で、それから活動してきておりますけれども、やっぱり現行案と、市民から出されている見直し案を、両方比較をして、9つの比較をまとめて、こういう場でお示しをして、115億掛けるけど、これでいきますかと。</p> <p>こちらは熟度が違うとおっしゃいますけども、私からしたら、熟度は私のほうが全然上だと思います。こちらの案だと、同じ坪61万を掛けると、90億レベルでできるんだと、最終判断について、市長は、民主的な手続を踏んでこなかったものを、議論するつもりはないというふうにおっしゃるんだけど、私はそれを言い続けられないと思います。行政の決定のシステム上はそれで正しいとは思いますが、今の議会の決定プロセスで生まれてしまったこの現行案というのは、市民に非常に不幸な、過度な負担を強いるものが出来上がってしまうと思います。</p> <p>なので、進めるのであれば、きちっと両案を比較して、知らせないといけないと思います。私は、今の現行案を進めるのは、大々大反対。小金井に60年住んでいますけども、大反対です。市長の言い分は分かるんですけど、12万4,000人の市民の意見ではないんですよ。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>市民説明会でも何度も同じお話、御意見を聞きしております。そのときにもお伝えしましたが、これまで行政として、プロセスを経てつくり上げてきた設計であり、市民と一緒に色々議論をして、これからの参加と協働、そして「交流のまち」をつくるためのいろんな意見を踏まえて、設計した内容でございます。数字の試算で、さっきおっしゃったことはあるんですけども、我々としては、例えば今、実施設計の途中です。例えば、そういう案を検討しろという段階ではないということは、繰り返しお伝えしております。</p> <p>仮に設計を見直すのであれば、今、御提案されているものと比較するという話ではなく、もう1回ゼロから、条件から整理し直すというプロセスにならざるを得ない。これが行政のやり方なんです。だから、説明会のときにも伝えましたが、民間企業だったら、トップの一存で、明日からこっちに切り替えようといえるのかもしれませんが、行政はそれができません。</p> <p>それは、公平性の観点からも絶対できないんです。ですので、設計を見直すんだったら、ゼロからやり直し。条件を整え、設計者のプロポーザルからやり直し、基本設計からまたやり直し。そうすると、もう何年先になるか分からないという状況です。</p> <p>この間、2年間、実施設計が止まっていた。これは私も議会にいたので、私自身の責任も感じてはおりますが、結局その間に建築資材が高騰によって、さっき御紹介いただいた、あくまで物価上昇が続く前提での試算として、今のところ、大体115億円という建築費の試算をしております。結局、2年間止まったことが、もったいない状況を生み出してしまったことも間違いありません。</p> <p>今、本庁舎は老朽化が激しくて、トイレの天井も1回抜きました。人がいない時間帯だったからよかったんですけど、配管もすごく古くて、夏場はフロア全体に臭いが充満するような状況で、衛生環境として、よろしい状態とは、とても思えないです。</p> <p>もし、設計をやり直すんだしたら、これも説明会でも言いましたけども、いつ新庁舎が建つかの先行きや見通しが立たないわけですから、本庁舎に手を入れないといけません。あの庁舎を延命させるために何億というお金をかけて延命させるという、それが本当に市民のためになるのか。</p> <p>更に建築資材が今後もまた上がっていくとするならば、先に行けば行くほどもったいない状況が生まれてしまう。そもそも設計自体、私としては市民とつくってきた良い設計だと思っていますし、良い建物になり、それを市民と一緒にしっかり運用することによって、まちはさらに発展すると、私は考えております。</p> <p>なおかつ、これまで積み上げたプロセスを否定することはできないし、今、実施設計の途中で他の案と比べろと言われても、さっき言いましたように熟度が違います。それをやると、また、他の案が出てきたら、また検討するのか、みたいな話になるんじゃないですか。そういう公平性も保てない中で、大変申し訳ないですけど、いろんな活動をしていただいていることは尊重いたしますが、市の長としてそういう判断はできません。</p> <p>なおかつ、もうそういう議論も踏まえて、この間、議会ですべて議論してきて、昨年10月、予算もしっかり議決いただいて、実施設計を再開したというのが現状でございます。ですので、御意見としては、御意見として受け止めますが、市としては、そういう考えでございますので、着実にこの事業を進行させなければいけないと、私は考えております。</p>